

平成 32 年度

事業者番号	0430	事業所番号	025101
-------	------	-------	--------

事業所の地球温暖化対策計画・実施状況報告

1 事業所の概要

(1) 事業所種別

事業所種別	C 平成20年度以降の3か年度(年度の途中から当該事業所の使用が開始された場合にあっては、当該年度を除く3か年度)連続して、年間原油換算エネルギー使用量が1,500kL以上の事業所(他の事業所の一部(区分所有部分、テナント部分等)である事業所は除く)
-------	---

(2) 事業所及び事業内容

事業所名	シチズン所沢事業所		
事業所所在地	市区町村	所沢市	
	字・地番	大字下富840番地	
産業分類名(中分類)	その他の製造業		
分類番号(中分類)	32		
事業活動の概要	事業内容 従業員数等	事業内容:各種時計類及びその部分品の製造 従業員 :531人	

2 事業所の温室効果ガス排出量の削減目標

(1) 第2計画期間の削減目標

計画期間		27	年度	~	31	年度
削減目標	エネルギー起源CO ₂ (必須)	【第2計画期間】基準排出量(平成14年度~16年度)に対し、削減計画期間(平成27年度~平成31年度)の平均削減率を13%とします。				
	その他ガス					
エネルギー起源CO ₂ の削減目標の概要	排出可能上限量 (計画期間合計)	64,593	t-CO ₂	事業所区分 第2区分		
	削減目標量 (計画期間合計)	9,652	t-CO ₂			

(2) 第3計画期間の削減目標

計画期間		32	年度	~	36	年度
削減目標	エネルギー起源CO ₂ (必須)	【第3計画期間】基準排出量(平成14年度~16年度)に対し、削減計画期間(平成32年度「令和2年度」~平成36年度「令和6年度」)の平均削減率を20%とします。				
	その他ガス					

3-1 事業所の温室効果ガス排出量

(1)原油換算エネルギー使用量の推移

原油換算エネルギー 使用量(kL)	計画期間				
	27年度 (2015)	28年度 (2016)	29年度 (2017)	30年度 (2018)	31年度 (2019)
	6,572	6,534	6,394	6,251	5,541

(2)計画期間の温室効果ガス排出量の推移

CO₂換算(t-CO₂)

		計画期間				
		27年度 (2015)	28年度 (2016)	29年度 (2017)	30年度 (2018)	31年度 (2019)
エネルギー起源CO ₂		12,911	12,837	12,562	12,280	10,896
その他 ガス	非エネルギー起源CO ₂					
	メタン					
	一酸化二窒素					
	ハイドロフルオロカーボン					
	パーフルオロカーボン					
	六ふっ化いおう					
	三ふっ化窒素					
温室効果ガスの合計		12,911	12,837	12,562	12,280	10,896

(3)計画期間の温室効果ガス排出量原単位の状況(エネルギー起源CO₂)

CO₂換算(t-CO₂/指標)

				計画期間				
				27年度 (2015)	28年度 (2016)	29年度 (2017)	30年度 (2018)	31年度 (2019)
エネルギー起源CO ₂ 排出量原単位				0.4901	0.4873	0.4768	0.4661	0.4136
活動規模の指標	○	床面積	m ²	26,344	26,344	26,344	26,344	26,344

3-2 温室効果ガス削減目標に係る状況

(1) 基準排出量

基準排出量	14,849	t-CO ₂ /年
基準排出量検証	基準年度検証実施済	

(2) 基準排出量の変更

変更年度		変更量	
変更年度		変更量	
変更年度		変更量	

(3) 目標削減率

目標削減率の区分	第2区分
----------	------

(4) 削減計画期間

27	年度から	31	年度まで
----	------	----	------

(5) 年度ごとの状況

		27年度 (2015)	28年度 (2016)	29年度 (2017)	30年度 (2018)	31年度 (2019)	削減期間 合計	
基準 排 出 量 等	基準排出量(A)	14,849	14,849	14,849	14,849	14,849	74,245	
	トップレベル認定							
	目標削減率(B)	13.0%	13.0%	13.0%	13.0%	13.0%		
	排出上限量 (C = ΣA-D)							64,593
	排出削減目標量 (D = Σ(A×B))							9,652
実績	エネルギー起源 CO ₂ 排出量(E)	12,911	12,837	12,562	12,280	10,896	61,486	
	排出削減量 (F = A - E)	1,938	2,012	2,287	2,569	3,953	12,759	
特例	高効率設備の 算定量(※)							

※ 算定を希望する場合のみ記入する。別途、算定資料(任意様式)を添付すること。

 (6) エネルギー起源CO₂排出量の増減に影響を及ぼす要因の分析

- ・6,8号館クリーンルーム内照明器具LED化で25t/CO₂削減。
- ・厨房用給湯設備瞬間湯沸かし器化工事で11t/CO₂削減
- ・B館1階空調設備更新工事で7t/CO₂削減
- ・6号館の吸収式冷凍機をモジュールチラーに変更したことで832t/CO₂削減
- ・その他生産数量減少による削減が見込まれた。

4 温室効果ガスの排出の抑制等に関する措置の計画及び実施状況

No	対策の区分			対策概要	実施年度	推計削減量(t) (一年度当たり)
	区分番号	区分名称				
		大区分	中区分			
1	330200	空調設備・換気設備	33_加熱及び冷却並びに伝熱の合理化に関する措置	6号館AHU-7用インバーター設置工事	H27年度	10
2	380700	照明設備	38_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	6号館2階居室蛍光灯更新工事	H27年度	6
3	330200	空調設備・換気設備	33_加熱及び冷却並びに伝熱の合理化に関する措置	6号館地下第1変電所空調機更新工事	H28年度	3
4	330200	空調設備・換気設備	33_加熱及び冷却並びに伝熱の合理化に関する措置	6号館2階測定室空調機更新工事	H28年度	9
5	380700	照明設備	38_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	5号館3階図書室蛍光灯更新工事	H28年度	1
6	380700	照明設備	38_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	構内外灯更新(LED化) 壁面蛍光灯工事	H28年度	2
7	380700	照明設備	38_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	A館2階照明器具更新工事	H29年度	1
8	380700	照明設備	38_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	6号館1階前室他照明器具更新	H29年度	8
9	380700	照明設備	38_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	1号館地下共用廊下部分照明器具更新工事	H29年度	6
10	380700	照明設備	38_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	1号館1階共用廊下部分照明器具更新工事	H29年度	8
11	380700	照明設備	38_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	1号館2階共用廊下部分照明器具更新工事	H29年度	5
12	380700	照明設備	38_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	構内外灯水銀灯整備(LED化)	H29年度	10
13	330200	空調設備・換気設備	33_加熱及び冷却並びに伝熱の合理化に関する措置	A館2階空調換気設備更新工事	H29年度	1
14	380700	照明設備	38_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	6号館1階クリーンルーム前室・資材搬入室等蛍光灯更新工事	H29年度	4
15	380700	照明設備	38_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	6・8号館クリーンルーム内照明器具LED化更新工事	H30年度	25

※ 入力欄が足りない場合は、シートの様式を変更せずに、同様式の別ファイルを作成して提出してください。

5 事業者として実施した対策の内容及び対策実施状況に関する自己評価

(※希望者のみ記載)

自由記述欄

A large yellow rectangular area intended for free text input, occupying most of the page below the header and section title.